

要電源重度障がい児者災害時等支援ネットワーク構築事業

【事業概要】

- ・人工呼吸器など、日常的に電源を要する医療機器を使用する在宅重度障がい児者にとって電源の喪失は生命の危機に直結するため、長期停電を想定した備えが必要。
- ・このため、市町村に対し在宅重度障がい児者等の把握及び災害時支援等体制に係る調査を実施し、有事の際に有効な支援が行えるよう、医療機関、消防、電力会社、行政等の関係機関による支援体制の整備を促進する。

★R4年度実施内容

- 在宅重度障がい児者災害時等支援ネットワーク会議等の開催
- 市町村における在宅重度障がい児者等の把握及び災害時支援等体制に係る状況調査の実施

重度障がい児者災害時等支援ネットワークのイメージ

